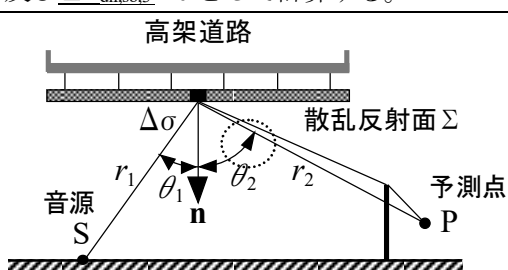
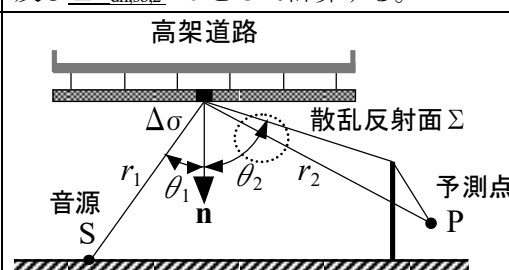


訂 正

本誌 65 巻 4 号 小特集 「道路交通騒音の予測モデル“ASJ RTN-Model 2008” —日本音響学会道路交通騒音調査研究委員会報告—」において記述に誤りがありました。正しくは以下のとおりです。ここにお詫びし訂正いたします。

頁	誤	正
p.206 の右段上から 6~7 行目	<p>…, L_{A2} 及び L_{A3} は式(4.21)で $\Delta L_{\text{dif, sb, 2}} = 0$ 及び $\Delta L_{\text{dif, sb, 3}} = 0$ として計算する。</p>	<p>…, L_{A1} 及び L_{A2} は式(4.21)で $\Delta L_{\text{dif, sb, 1}} = 0$ 及び $\Delta L_{\text{dif, sb, 2}} = 0$ として計算する。</p>
p.208 の図-4.12(a)	<div style="text-align: center;">  </div> <p>反射角 θ_2 は法線ベクトル \mathbf{n} と線分 r_2 のなす角度となっているが、これは誤り。</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <p>反射角 θ_2 は法線ベクトル \mathbf{n} と要素 $\Delta\sigma$ の中心と遮音壁先端を結ぶ線分とのなす角度が、正です。</p>